

分野名：人権教育

地域のすべての人に寄り添って次世代につなぐために

～子どもたちの希望や夢を地域の大人が応援している
相手の立場を尊重し思いやれる、人づくり～

北九州市 大蔵市民センター【市民センター】
館長 坂田 佳子

1. 事業名

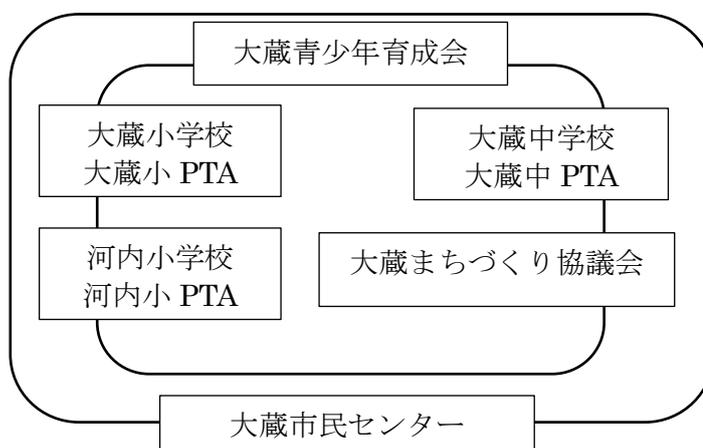
大蔵地区青少年問題懇談会

2. 事業内容

時代や世代において変化する課題（人権に関する内容など）について、小中学生の保護者と地域が議論し理解を深めることを目的に、テーマに沿った講師を招聘し様々な内容の講演会を開催している。昭和 57 年に開催した第 1 回合同青少年問題懇談会以降は地域の恒例の事業となっている。

3. 事業の実施体制

大蔵市民センターが中心となり大蔵まちづくり協議会、大蔵青少年育成会、河内小学校・大蔵青少年育成会、河内小学校・大蔵小学校・大蔵中学校とそれぞれの学校の P T A が参画している。



4. 実施に至る経緯

事業当初はセンター主催で実施する事業の一環であったが、少子高齢化・世代間交流の希薄化などの問題を地域で解決していこうと、大蔵まちづくり協議会や学校関係者に呼びかけて共催に至った。大蔵市民センターは拠点となり、各団体をつなぐ役割を担っている。

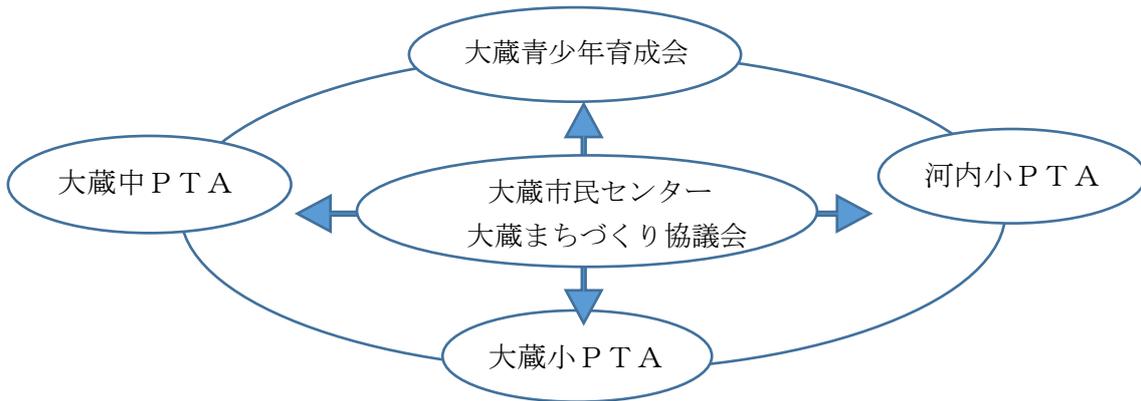
5. プログラム作成の視点

北九州市には「子どもを育てる 10 か条」がある。(資料：添付)

これは、子どもたちの健全な育成をおこなう上での人権指針の一つになっており、この指針をもとに毎年のテーマを大蔵地区青少年問題懇談会実行委員連絡会議で話し合い、決定している。

青少年問題懇談会実行委員連絡会議は大蔵青少年育成会、大蔵市民センター、大蔵中PTA、大蔵小PTA、河内小PTAで構成され、講師、役割分担、タイムスケジュール、予算など細かく話し合っている。

大蔵地区青少年問題懇談会実行委員連絡会議



6. 事業の内容

- ① 平成 28 年度「生まれてくれてありがとう」 子育てシンガー mon 氏
- ② 平成 29 年度「急増する児童虐待」北九州市立八幡病院 院長 市川 光太郎 氏
- ③ 平成 30 年度「子ども達の現状—地域と学校の連携」
北九州市 子ども総合センター 参事 渡邊 義隆 氏
- ④ 令和元年度「子どもと夢を語り合おう」 三味線奏者 安田 勝竜 氏
- ⑤ 令和 2 年度「スマートフォンや携帯電話等のトラブルから子どもたちを守るために」
北九州市子ども家庭局青少年課 青少年非行対策担当課長 野田 武治 氏
- ⑥ 令和 3 年度「いのちの贈り物 ～ドナーと共に生きる～」
ピアニスト (移植体験談とピアノ演奏) 児嶋 由紀 氏

※開催された青少年問題懇談会の一部を紹介。

平成 28 年度 「生まれてくれてありがとう」

子育てシンガー mon 氏

平成 28 年の講師 mon さんのお話しは、幼い頃から人種差別を受けたご自身の体験談でした。会場にいる保護者の方が涙するような感動的なお話しでした。人種差別をすることがないように、人を思いやる気持ちを持った人が集まる地域でありたいと感じました。



令和3年度 「いのちの贈り物 ～ドナーと共に生きる～」

ピアニスト（移植体験談とピアノ演奏） 児嶋 由紀 氏



令和3年度は、ご自身の身体の不調を大丈夫だと過信していたことから、人工透析の療養生活を送ることになったピアニストの方のお話でした。ドナーが見つかるまでの闘病生活から現在までの体験を通して、今を生きていること、「いのち」の大切さとありがたさが、真に迫るような内容でした。ドナーの方への感謝の思いを歌にのせたピアノ演奏に皆さん感動されていました。

最後に「自分の体を大切にしてください。」という言葉が参加の皆さんの心に響きわたりました。

7. 事業の成果

大蔵地区青少年問題懇談会の継続的な開催により、人権等の問題・課題が、各団体間で共有され、有機的な連携が図れるようになったことを実感している。大蔵まちづくり活動の隆盛に、こうした成果が如実に反映されている。

また講演会では、日常生活の中で見過ごされがちな命の大切さ、自尊感情の重要性、感謝の気持ちをもつなど様々な人権をテーマとした内容に、参加者（地域住民）からは「改めて気づかされた」「聞いてよかった」という感想が多く寄せられているなど「気づき」の一役を担っていると言える。

「大蔵青少年問題懇談会」は、毎年開催されており、地域住民や、小中学校の保護者の参加者も年々多くなっている。

8. 今後の課題

時代に沿ったテーマを的確に企画する難しさを痛感している。

また、企画を考える関係者の育成も課題の一つである。現在小学校、中学校の保護者が参画しているが、任期終了後には大蔵まちづくり協議会の一員として活動して頂けるように働きかけている。

数十年以上継続開催している「大蔵地区青少年問題懇談会」を、今後も末永く地域に定着・発展させ、すべての住民が大蔵に住んでよかったと思えるような地域を目指していきたいと考えている。

9. 問い合わせ先

〒806-0048 福岡県北九州市八幡東区大蔵二丁目1番40号

北九州市立 大蔵市民センター

TEL:093-652-3817 FAX:093-652-3843

E-mail:ok-sf@ktqc02.net